

第3回 (昭和47年)



すずき ゆうぞう
鈴木 雄三氏

生年月日 明治29年7月15日生

住 所 田辺市湊

明治29年(1896年)7月、西牟婁郡下秋津村(現田辺市秋津町)に生まれる。
若くして弓道を志す。

昭和42年(1967年)、弓道8段となり、翌43年(1968年)5月、和歌山県史上初の範士の称号を受け、弓道の普及と後進の指導育成に尽力。

昭和46年(1971年)、和歌山国体弓道大会で、新装の田辺市立弓道場にご臨場の天皇皇后両陛下にご説明。弓道歴50有余年、県下弓道界の重鎮として、一筋に弓道を通じて住民の人間形成に寄与。

和歌山県弓道連盟会長、全日本弓道連盟評議員終身参与会員、和歌山県体育連盟理事を務める。歯科医師。南部小学校、南紀農業学校、南部高等学校、田辺商業高等学校(現神島高等学校)校医として48年余。

和歌山県スポーツ賞、勲五等双光旭日章。日本大学歯学部卒。